

遠隔オートロック (M413)

W43H II を紛失した場合などに、特定の電話からW43H II へ電話をかけて着信を繰り返すことにより、W43H II を他人が使えないように遠隔操作でオートロックとFeliCaロックをかけることができます。



1 待受中に → ロックNo.を入力 →



遠隔オートロックメニューが表示されます。

2 [発信元番号一覧]

発信元番号の一覧が表示されます。

3 (編集) → 電話番号を入力 → (登録)

電話番号は3件まで登録できます。 /  を押し、発信元番号の一覧に戻り電話番号を編集できます。

- 電話番号入力画面で  (サブメニュー) を押し、[アドレス帳] [発信履歴] [着信履歴] から電話番号を選択して登録できます。「公衆電話」を選択すると、「公衆電話」と表示され、電話番号の入力は必要ありません。
※ データ消去が「消去する」に設定されていると、「公衆電話」を選択できません。
- 発信元番号一覧で  (サブメニュー) を押し、登録した電話番号を「編集」 / 「削除」することができます。「削除」では、「1件削除」 / 「全件削除」が選択できます。

4 →

遠隔オートロックメニューに戻ります。

5 [ON/OFF設定] → [設定する]

- 「発信元番号一覧」が登録されていないと、「設定する」を選択できません。

6 [指定時間] → 時間を入力 →

1～10分の間で設定できます。

7 [着信回数] → 回数を入力 →

3～10回までの間で設定できます。

8 [データ消去] → [消去する] / [消去しない]

「消去する」にした場合、遠隔オートロックの起動時に「メモリリセット (M462)」が実行され、メモリに記憶された内容がすべて削除されます。

- 発信元番号に「公衆電話」が登録されていると、「消去する」を選択できません。

9 [本体ロック解除] → [有効] / [無効]

「有効」に設定した場合、待受中にいずれかのキーを押すと、ロック解除画面が表示されます。

「無効」に設定した場合、ロック解除画面は表示されません。もう一度設定した条件でW43H II に電話をかけると解除することができます。

■ お知らせ

- 遠隔操作をするときは、発信者番号を通知して電話をかけてください。
- W43H II の電源が入っていなかったり、サービスエリア外やサービスエリア内でも電波の弱い場所にW43H II がある場合は、遠隔オートロックを起動できません。
- 遠隔オートロックが起動すると、W43H II の電源が自動的にOFFしたあと、もう一度ONになります。
- 着信の回数のカウント中に次の操作を行うと、それまでにカウントした着信の回数がリセットされます。
 - 電源をOFFにした場合
 - 「遠隔オートロック (M413)」を「解除する」にした場合
 - 「遠隔オートロック (M413)」の設定を変更した場合
 - 「機能リセット (M461)」 / 「オールリセット (M464)」した場合
- 次の場合は着信の回数はカウントされません。
 - 非通知または通知不可能により発信者番号が通知されない場合
 - 話中転送またはフル転送により着信を転送した場合
 - 通話中の割込着信の場合

■ 遠隔オートロックをかける

「遠隔オートロック (M413)」で登録した電話から、設定した条件でW43H II へ電話をかけると、オートロックとFeliCaロックした旨のガイダンスが流れオートロックとFeliCaロックを設定できます。